

## 平成 30 年度 学校保健統計（学校保健統計調査報告書）（広島県分）の概要について

学校保健統計調査は、学校における幼児、児童及び生徒（以下「児童等」という。）の発育及び健康の状態を明らかにすることを目的として、文部科学省が毎年実施しているものである。

この報告書は、文部科学省が取りまとめた調査の結果（平成 31 年 3 月 25 日公表）のうち広島県分を取りまとめたものである。

### 1 調査の対象

調査の対象は、幼稚園、幼保連携型認定こども園、小学校、中学校、義務教育学校、中等教育学校及び高等学校のうち、文部科学大臣があらかじめ指定した学校（以下「調査実施校」という。）であり、調査実施校に在籍する満 5 歳から 17 歳までの児童等の中から、発育状態調査については、文部科学省が指定する抽出方法により一部の児童等を対象とし、健康状態調査については、調査実施校に在籍する児童等全員を対象とした。

広島県における全児童等に対する調査対象児童等の抽出率は、発育状態調査が 4.6% (14,454 人)、健康状態調査は 25.6% (80,172 人) となっている。

【全国の抽出率】発育状態調査：5.1% (695,600 人)、健康状態調査：25.3% (3,423,771 人)

区 分		幼稚園	小学校	中学校	高等学校	計
在学者数(C)		12,861人	152,659人	75,879人	71,774人	313,173人
発育	調査対象者数(D)	1,418人	5,843人	4,465人	2,728人	14,454人
	抽出率 (D) / (C)	11.0%	3.8%	5.9%	3.8%	4.6%
健康	調査対象者数(E)	2,716人	33,780人	18,386人	25,290人	80,172人
	抽出率 (E) / (C)	21.1%	22.1%	24.2%	35.2%	25.6%

(注) 1 幼稚園には幼保連携型認定こども園を、小学校には義務教育学校(第1～6学年)を、中学校には義務教育学校(第7～9学年)及び中等教育学校の前期課程を、高等学校には中等教育学校の後期課程をそれぞれ含む(以下同じ)。

2 在学者数は、平成30年度学校基本調査の結果による。なお、高等学校については、4学年、専攻科及び通信制の生徒数を除いている。また、幼稚園については、5歳児の幼児数としている。

### 2 調査事項

学校保健安全法による健康診断の結果に基づき、児童等の発育状態(身長、体重)及び健康状態(疾病・異常等の有無)を調査

### 3 調査の実施時期

平成 30 年 4 月 1 日から 6 月 30 日の間に実施

#### <調査結果のポイント>

##### 【発育状態調査】

- ・調査開始の昭和 23 年度以降、身長(平均値)、体重(平均値)共に増加傾向にあったが、平成に入ってから、身長は横ばい傾向、体重は横ばい、又は、減少傾向となっている。
- ・身長、体重共に、全国平均と同程度、又は、全国平均を下回っている。

##### 【健康状態調査】

- ・「むし歯(う歯)」については、都道府県別の集計が開始された平成 18 年度以降、全ての学校種別で減少傾向が続いている。特に、幼稚園及び高等学校では、平成 18 年度以降最低、10 年前と比較すると、20 ポイント以上の大幅減となっている。
- また、全国と比較しても、全ての学校種別で全国を下回っている。

## II 調査結果の概要

### 1 発育状態調査

・身長（平均値）は、男子では、5歳、9歳、11歳、12歳及び17歳、女子では、6歳、8歳、10歳、13歳及び16歳で前年度より高くなっている。全国と比較した場合、5歳及び9歳の男子以外は全国を下回っている。

・体重（平均値）は、男子では、5歳、9歳、11歳、12歳及び17歳、女子では、8歳、10歳、13歳及び16歳で前年度より増加している。全国と比較した場合、5歳、9歳及び12歳の男子、13歳の女子以外は全国を下回っている。

#### 年齢別 身長（前年度及び全国との比較）

（単位：cm）

区 分		男 子					女 子				
		平成 30年度 <b>A</b>	平成 29年度		平成30年度 (全国)		平成 30年度 <b>A</b>	平成 29年度		平成30年度 (全国)	
			B	差 A-B	C	差 A-C		B	差 A-B	C	差 A-C
幼稚園	5歳	<b>110.4</b>	109.7	0.7	110.3	0.1	<b>108.9</b>	109.0	△ 0.1	109.4	△ 0.5
小学校	6歳	<b>116.0</b>	116.2	△ 0.2	116.5	△ 0.5	<b>115.2</b>	114.9	0.3	115.6	△ 0.4
	7	<b>122.0</b>	122.1	△ 0.1	122.5	△ 0.5	<b>121.1</b>	121.1	0.0	121.5	△ 0.4
	8	<b>127.4</b>	127.7	△ 0.3	128.1	△ 0.7	<b>126.9</b>	126.6	0.3	127.3	△ 0.4
	9	<b>133.9</b>	132.7	1.2	133.7	0.2	<b>132.4</b>	132.6	△ 0.2	133.4	△ 1.0
	10	<b>138.0</b>	138.7	△ 0.7	138.8	△ 0.8	<b>139.4</b>	139.3	0.1	140.1	△ 0.7
中学校	11	<b>144.9</b>	144.6	0.3	145.2	△ 0.3	<b>146.3</b>	146.6	△ 0.3	146.8	△ 0.5
	12歳	<b>152.3</b>	151.9	0.4	152.7	△ 0.4	<b>151.2</b>	151.2	0.0	151.9	△ 0.7
	13	<b>158.9</b>	159.9	△ 1.0	159.8	△ 0.9	<b>154.4</b>	154.2	0.2	154.9	△ 0.5
高等学校	14	<b>164.3</b>	164.4	△ 0.1	165.3	△ 1.0	<b>155.5</b>	155.7	△ 0.2	156.6	△ 1.1
	15歳	<b>167.6</b>	167.6	0.0	168.4	△ 0.8	<b>156.2</b>	156.5	△ 0.3	157.1	△ 0.9
	16	<b>169.1</b>	169.4	△ 0.3	169.9	△ 0.8	<b>157.5</b>	157.1	0.4	157.6	△ 0.1
	17	<b>170.3</b>	169.7	0.6	170.6	△ 0.3	<b>157.2</b>	157.3	△ 0.1	157.8	△ 0.6

（注）1 年齢は、各年4月1日現在の満年齢である（以下同じ）。

2 「△」は減少を示す（以下同じ）。

#### 年齢別 体重（前年度及び全国との比較）

（単位：kg）

区 分		男 子					女 子				
		平成 30年度 <b>A</b>	平成 29年度		平成30年度 (全国)		平成 30年度 <b>A</b>	平成 29年度		平成30年度 (全国)	
			B	差 A-B	C	差 A-C		B	差 A-B	C	差 A-C
幼稚園	5歳	<b>19.0</b>	18.7	0.3	18.9	0.1	<b>18.3</b>	18.4	△ 0.1	18.5	△ 0.2
小学校	6歳	<b>21.0</b>	21.2	△ 0.2	21.4	△ 0.4	<b>20.6</b>	20.8	△ 0.2	20.9	△ 0.3
	7	<b>23.9</b>	23.9	0.0	24.1	△ 0.2	<b>23.2</b>	23.2	0.0	23.5	△ 0.3
	8	<b>26.6</b>	26.8	△ 0.2	27.2	△ 0.6	<b>26.3</b>	25.9	0.4	26.4	△ 0.1
	9	<b>30.8</b>	29.6	1.2	30.7	0.1	<b>29.3</b>	29.5	△ 0.2	30.0	△ 0.7
	10	<b>33.0</b>	33.5	△ 0.5	34.1	△ 1.1	<b>33.6</b>	33.5	0.1	34.1	△ 0.5
中学校	11	<b>37.9</b>	37.8	0.1	38.4	△ 0.5	<b>38.7</b>	39.4	△ 0.7	39.1	△ 0.4
	12歳	<b>44.4</b>	43.3	1.1	44.0	0.4	<b>43.5</b>	43.6	△ 0.1	43.7	△ 0.2
	13	<b>48.0</b>	49.0	△ 1.0	48.8	△ 0.8	<b>47.4</b>	47.0	0.4	47.2	0.2
高等学校	14	<b>53.2</b>	53.6	△ 0.4	54.0	△ 0.8	<b>49.3</b>	50.1	△ 0.8	49.9	△ 0.6
	15歳	<b>57.6</b>	57.6	0.0	58.6	△ 1.0	<b>50.9</b>	51.0	△ 0.1	51.6	△ 0.7
	16	<b>59.7</b>	60.8	△ 1.1	60.6	△ 0.9	<b>52.4</b>	52.1	0.3	52.5	△ 0.1
	17	<b>61.6</b>	61.4	0.2	62.4	△ 0.8	<b>52.1</b>	52.5	△ 0.4	52.9	△ 0.8

## 2 健康状態調査

### (1) 主な疾病・異常の被患率等

・小学校では、「むし歯（う歯）」の者（処置完了者を含む。以下同じ。）の割合が最も高く、次いで、「裸眼視力1.0未満の者」の順になっている。中学校では、「裸眼視力1.0未満の者」の割合が最も高く、次いで、「むし歯（う歯）」の順となっている。幼稚園及び高等学校では、サンプル数が少なく数値が非公表の「裸眼視力1.0未満の者」を除くと、「むし歯（う歯）」の割合が最も高くなっている。

・「アトピー性皮膚炎」の者の割合は、中学校及び高等学校で都道府県別の集計を開始した平成18年度以降最高となっている。

#### 学校種別 疾病・異常の被患率等の上位

(単位:%)

学校種	順位	疾病・異常等	割合	学校種	順位	疾病・異常等	割合
幼稚園	1	むし歯(う歯)	26.1	中学校	1	裸眼視力1.0未満の者	54.4
	2	アトピー性皮膚炎	3.2		2	むし歯(う歯)	31.5
	3	歯列・咬合	3.1		3	鼻・副鼻腔疾患	11.8
	4	鼻・副鼻腔疾患	3.0		4	眼の疾病・異常	6.1
	5	眼の疾病・異常	2.4		5	歯肉の状態	5.7
小学校	1	むし歯(う歯)	43.0	高等学校	1	むし歯(う歯)	40.4
	2	裸眼視力1.0未満の者	33.4		2	鼻・副鼻腔疾患	9.6
	3	鼻・副鼻腔疾患	11.6		3	歯肉の状態	7.2
	4	眼の疾病・異常	6.6		4	歯垢の状態	6.5
	5	歯・口腔のその他の疾病・異常	5.4		5	眼の疾病・異常	5.6

### (2) 主な疾病・異常の被患率等の全国との比較

・「むし歯（う歯）」の者の割合は、全ての学校種別で全国を下回っている。

・「裸眼視力1.0未満の者」の割合は、数値が公表されている小学校及び中学校で全国を下回っている。

・「アトピー性皮膚炎」の者の割合は、幼稚園、中学校及び高等学校では全国を上回っている。

#### 学校種別 主な疾病・異常等の全国との比較

(単位:%)

区分	裸眼視力1.0未満の者		眼の疾病・異常		耳疾患		鼻・副鼻腔疾患		むし歯(う歯)	
	広島県	全国	広島県	全国	広島県	全国	広島県	全国	広島県	全国
幼稚園	X	26.68	2.4	1.55	1.7	2.31	3.0	2.91	26.1	35.10
小学校	33.4	34.10	6.6	5.70	4.8	6.47	11.6	13.04	43.0	45.30
中学校	54.4	56.04	6.1	4.87	3.6	4.72	11.8	10.99	31.5	35.41
高等学校	X	67.23	5.6	3.94	2.3	2.45	9.6	9.85	40.4	45.36

区分	歯列・咬合		歯垢の状態		歯肉の状態		アトピー性皮膚炎		ぜん息	
	広島県	全国	広島県	全国	広島県	全国	広島県	全国	広島県	全国
幼稚園	3.1	3.81	0.2	0.69	-	0.29	3.2	2.04	0.7	1.56
小学校	3.8	4.70	1.8	3.11	1.5	1.91	3.1	3.40	2.1	3.51
中学校	5.0	5.14	4.8	4.73	5.7	4.14	4.6	2.85	2.5	2.71
高等学校	5.1	4.43	6.5	4.57	7.2	4.26	3.1	2.58	1.0	1.78

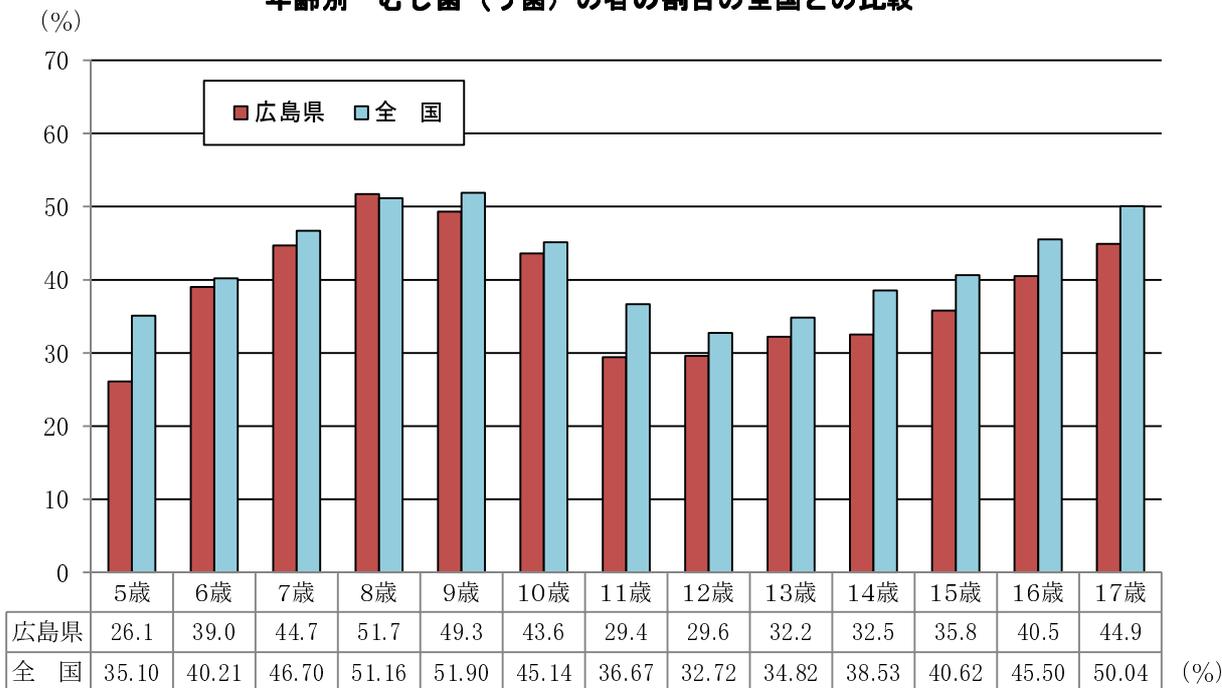
(注) 1 サンプル数が少ないため非公表となっているものについては、「X」と表示している(以下同じ)。

2 全国の数値は小数点第2位まで、県の数値は小数点第1位までを表章している(以下同じ)。

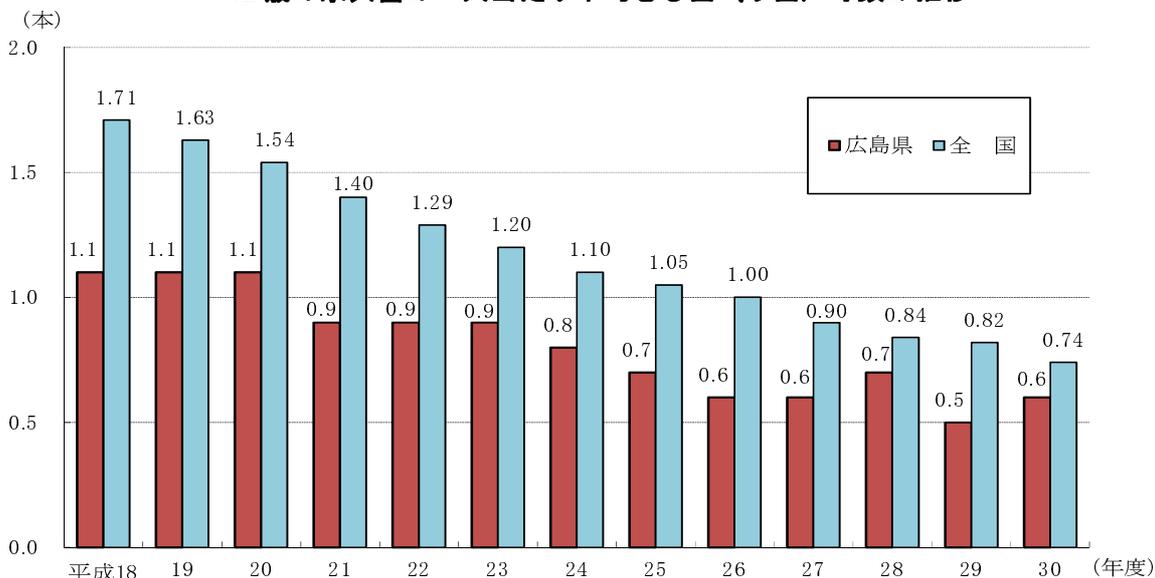
### (3) むし歯(う歯)の状況

- ・「むし歯(う歯)」の者の割合は、8歳が51.7%と最も高くなっている。全国と比較した場合、8歳以外は全国を下回っている。
- ・中学校1年(12歳)のみを調査対象としている永久歯の一人当たりの平均むし歯等数(喪失歯及び処置歯数を含む。)は、前年度より増加しているが、全国との比較においては、平成18年度以降、全ての年度において全国を下回っている。

年齢別 むし歯(う歯)の者の割合の全国との比較



12歳の永久歯の一人当たり平均むし歯(う歯)等数の推移



この報告書の内容は、文部科学省及び広島県のホームページでも提供しています。

「学校保健統計調査」及び「広島県学校保健統計調査」で検索してください。

文部科学省 [http://www.mext.go.jp/b\\_menu/toukei/chousa05/hoken/1268826.htm](http://www.mext.go.jp/b_menu/toukei/chousa05/hoken/1268826.htm)

広島県 <https://www.pref.hiroshima.lg.jp/site/toukei/gakkohokentoukeityousa.html>

問い合わせ先 広島県総務局統計課 消費経済・教育統計グループ 電話 082-513-2534 (ダイヤルイン)



政府統計